



レンズ金型向け高温成形可能なドロップレットフリーDLC膜完成

非球面ガラスレンズ金型向けに 超平滑DLC膜の受託コートを開始

当社グループの日本アイ・ティ・エフ株式会社は、非球面ガラスレンズ成形金型の離形用途に「ジニアスコートHAS」ダイヤモンドライクカーボン（DLC）膜をリリースしました。

従来のアークイオンプレーティング成膜法では、グラファイトのカソードから発生するスパーク（火花）がドロップレットとしてDLC膜中に取込まれ、微細な凸を形成していましたが、世界に先駆けてスパークが発生しない蒸発源の開発に成功。このスパークレスアーク（SLA）技術を活用して、ドロップレットフリーで、かつ水素フリーであ

るアーク法DLC膜の量産技術を確認しました。

既に複数のレンズメーカー様へ提供を開始し「ドロップレットが非常に少ない」「これまで成形できなかった不活性ガス中700°Cの条件でも成形できる様になった」「特殊なガラス材成形でも膜の耐久性がアップした」等々、数多くのご高評をいただいております。

納入品

- 非常に平滑で高硬度の水素フリーDLC膜「ジニアスコートHAS」



従来のアーク放電



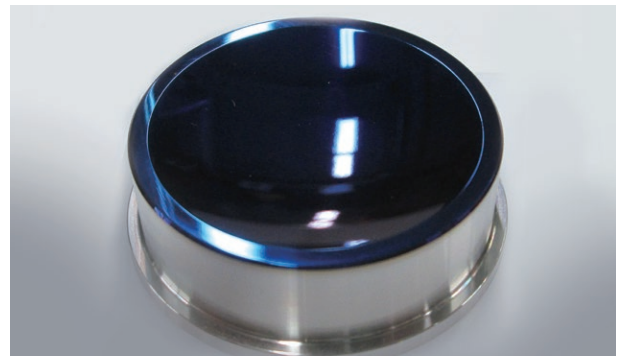
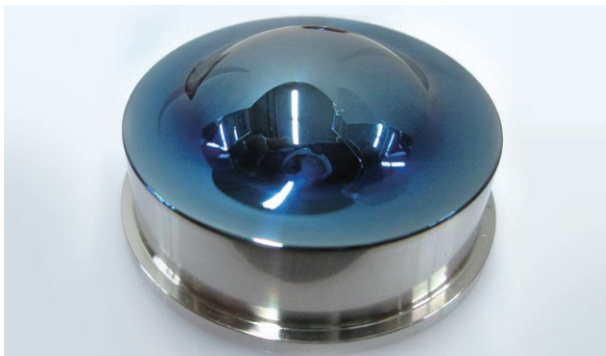
スパークレスアーク放電



従来アーク法により成膜したDLC膜



SLA法により成膜したDLC膜「ジニアスコートHAS」



ジニアスコートHASを成膜したレンズ金型